



社協だより

第 56 号

平成27年 7月31日発行

発行 者

社会福祉法人

銚田市社会福祉協議会

会 長 鬼 沢 保 平

編 集 者

調査・広報委員 中 島 庸 介

■ ほこたの福祉 ■

社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会 茨城県銚田市当間228 TEL 0291-32-5831

ホームページアドレス <http://www.hokotashakyo.or.jp>



子育て応援 プロジェクト事業

7月26日（日）大洋公民館において、子育て応援プロジェクト事業を開催しました。第1部では社協ボランティア「ムジカ・ママ」による“わくわくコンサート”、第2部では劇団飛行船による“3びきのこぶた”が行われました。約300名の親子が参加し、夏の楽しい思い出ができました。

目 次

- P 2 善意銀行事業について
- P 3 介護事業について
- P 4 / 5 福祉の「め」
- P 6 ふれあいいきいきサロン
地域福祉推進事業補助金交付の
お知らせ
- P 7 お知らせ／善意銀行
スマイルフェスティバル
inほこた開催
新規会員募集
- P 8 保育所（園）・幼稚園児の作品
手と手をつなぐ地域づくり
韮負区



赤い羽根
共同募金

このマークのついている事業は、赤い羽根共同募金が活用されています。

❖❖❖ 善意銀行事業について ❖❖❖

善意の寄付、募金活動、チャリティーやバザーの収益金などの寄付金や車イス、使用済切手、使用済プリペイドカード類などの物品をお預かりしています。

※物品に関しては、活用が難しいものもございますので、まずはご相談ください。



※本会に対する寄付金は、税法上の税額控除の対象となります。

※ご寄付いただいた方の了解を得て、広報誌「社協だより」にご芳名を掲載させていただきます。

皆様からお預かりした善意は、このように使われています。

○寄付金

一人暮らし高齢者サロン事業や広報誌「社協だより」の発行、福祉車両の購入等に活用しています。

一人暮らし高齢者サロン



○物品

お預かりした物品は、有効活用していただけるよう、各福祉団体や施設、福祉活動等に払い出しをしています。

使用済切手・使用済プリペイドカードなど



福祉車両



タオル・手ぬぐいなど



今後とも皆様の温かい善意をお寄せくださいますよう、よろしくお願いたします。

介護でお困りの方などはお気軽にご相談ください

社協では介護事業として居宅介護支援事業と訪問介護事業に取り組んでいます。

《居宅介護支援事業》

介護支援専門員（ケアマネージャー）が利用者の身体状況や家族の希望に応じたサービスを提供できるよう、ケアプラン（居宅サービス計画書）を作成します。また、介護保険についての相談を受け付けています。



《訪問介護事業》

訪問介護員（ホームヘルパー）が利用者のご自宅を訪問し、在宅で自立した生活が送れるように様々な支援を行っています。

【サービス内容】

- 身体介護・・・おむつ交換、食事や入浴の介助
- 生活援助・・・食事の準備や調理、居室等の掃除、買物代行など
- 通院等乗降介助・・・車での通院や日常生活に必要な買物の際の乗降介助

日常生活の援助
(洗濯・掃除
調理・買物など)



食事の介助

通院等乗降介助
(通院などの介助)



入浴、
清拭の介助

障害者への
移動支援事業

※要介護・要支援認定を受けた方、または障害支援区分認定を受けた方が対象です。

詳しくは下記、お問合せ先までご連絡ください。

お問合せ先
 銚田市社会福祉協議会
 居宅介護支援事業所／訪問介護事業所
 住所：銚田市当間228番地
 電話：32-2827

福祉の「め」

ずっと一緒だよ



当間小 6年 萩原 優奈

私には八十九才になる曾祖母がいました。私は曾祖母のことを「おばあちゃん」と呼んでいました。「ひいおばあちゃん」「より」「おばあちゃん」と呼ばれる方がうれしそうだったからです。

おばあちゃんはとても元気な人でした。私を入れて七人のひ孫が宿題をきちんとやるように、大きな声ではげましてくれました。また、みんなと散歩するのが楽しくなっ

たと言って、長い時間散歩することもありました。休まずに歩けたことを家族みんなにほめられると、おばあちゃん

はますますやる気になって、たくさん散歩しました。そんな元気だったおばあちゃん、年をとってきくと体のいろんなところが悪くなってきました。家の段差で転んでけがをしたり、肺炎で入院したり、食事制限が多くなったりしました。おばあちゃん

の体のことも考えて、おばあちゃんは老人ホームに入ることにしました。私はとてもさびしかったけれど、きつとおばあちゃんの方がさびしかったかもしれせん。



私は老人ホームに、時々遊びに行きました。おばあちゃん

は、「美人だね。」と言われるとよく笑いました。でも、あまり笑わない時もありました。それは、おとなりのベットの

先祖の大切さ



徳宿小 6年 田上 隼

ぼくの家では、いつも三月と九月のお彼岸、そして、お盆に必ず家族でお墓参りに出かけることになっています。

しかし、三月に入ったある日、お母さんが「お墓参りに行く」とぼくを誘ってききました。お彼岸までには、まだ日にちがあるし、「なぜ突然お墓参りに行くのだろう」と疑問に思いながら、お母さん

「ご先祖様がいるから、今こうしてあなたが生まれてくることができたんだよ。そして、幸せに暮らすことができているのも、ご先祖様が私達家族を見守ってくれているからだよ。」とお母さんは口ぐせのように話してくれました。普段は何気なく聞いていたひと言も、その日はとても重く感じました。

ぼくは、ご先祖様からつながってきた命を、大切にしていかなければならないと感じました。幸せに生きていられることに感謝の気持ちを持ちながら、毎日を精一杯生きていきたいです。ありがとう。

お墓についてみると、時期外れの墓地は、辺り一面雑草でおおわれていました。それを見てぼくは、「ここに眠っているご先祖様は、きつと不愉快に思っているだ

インスタントシニア 体験をして



上島西小 6年
竹澤 菜月

私達は、六月十六日に学校でインスタントシニア体験をしました。市の社会福祉協議会の方が来校し、体験を助けてくださいました。

手首、足首におもりをつけて、関節にサポーターをつけて歩くと、とても歩きづらく、階段を下りるとき、転びそうでごわくて不安になりました。また、特しゆなゴーグルをつけた白内障の体験では、視界がせまく、ぼんやりして見えづらかったです。

でも、近くに友達がいたので安心でした。お年寄りの方達や障害のある方達には、家

の人やみんなの温かい思いが大切なんだということが分かりました。そして、いつも不安な気持ちの中で、一生懸命がんばっているんだなと思いました。

私には、今年九十一歳になるひいおばあちゃんがあります。手がしわだらけですが元気で、す。でも、いっしょの部屋にいる時、足が痛いと言っていました。私はいつもひいおばあちゃんに頼ってばかりいて、やってもうろうろが多かったです。これまで、私はひいおばあちゃんのつらさを分かっています。動くのも大変なのに、私達のためにいろいろなことをしてくれているのです。これからは、ひいおばあちゃんのためにお手伝いをします。

私は、インスタントシニア体験をすることができてよかったです。障害のある方達やお年寄りの方達の大変さを

知ることができたからです。助けが必要な人達が、どう助けてもらいたいかについて考えることができました。

家族の 温かさ



旭中学校 3年
寺田 彩

「家族ってどんな存在なのだろう」

家族がテーマの番組を見て、私はそう思った。大切な存在、素を出せる存在。だが、それもいまいちピンと来ない。一言では言い表すことができないのだ。

そもそも、私が「家族って

どんな存在なのだろう」と考

えたのは、何故か。

それは番組で、ある場面を見たからである。家族みんなで触れ合っている写真。友達と笑い合っている写真。病気と闘っている写真。結婚式の写真。それらすべての写真にエピソードが添えられていた。それらの写真には、温かみや幸せが感じられた。しかし、寂しさも同時に感じられた。

何故だろう…。

番組を見ていたら、私も家族の写真が見たくなった。アルバムを見た。笑っている私。泣いている私。それをほほえんで見ている父や母。みんな

でいるんな所に行つて撮った写真一枚一枚。その写真は、テレビで見たどの写真より心に残り、心温まるものだった。昔の写真ばかりだが、とても新鮮で、見ていて飽きなかった。

その時、再び脳裏によぎっ

たのだ。

「家族ってどんな存在なのだろう」

今の私ならば、こう思う。家族とは、「世界で一番温かい存在であり、世界で一つしかないオリジナルな存在」であると…。

だから、どんなに辛い事や悲しい事があっても家族の温かさで溶かしてくれる。

もし、家族の誰かが苦しんでいたら、私とその苦しさを溶かしてあげたい。

そして、将来、私も温かい家族を築いていけるようになりたいと思う。



ふれあいいきいきサロン

三和高齢者クラブ (旭地区)

私達三和高齢者クラブは、旧夏海村と旧大谷村と旧諏訪村の、三村が合併して、旧旭村が誕生した時に、旧夏海村と旧大谷村の境界に位置する、三地区が併合して、一つの行政区として、三和区が誕生しました。したがって、私達の区には、六つの区が存在しております。もちろん、日本地図等には、三和区としては、掲載されてはおりません。場所としては、銚田市旭分庁舎のすぐ東側に位置した純農村地帯で、小中学校、旭幼稚園、旭保育園も有り、大変恵まれた地域です。

現在の会員数は、三十八名ですが、毎年の悩みは、入会者が少なく、会としても将来が思われます。会としてのまとまりは良く、一人ひとりが、会の運営には協力的で、旭地区連合会や市の連合会のいろいろな行事に参加して頂き、なごやかに生活しております。当会としても、年に二回、親睦会を業者を通じて、一日がかりでバスを利用して、行っています。又、いきいきサロンを、毎月第三木曜日と決めて、午後一時より、社会福祉協議会とボランティアの方々に、御世話を頂き、公民館を中心に行っております。

各自、色々な趣味が有り、公民館活動にも参加しており、カラオケ教室や、ランドゴルフ等も、各団体が主催する処があり、地元のランドゴルフの他にも参加しております。これからも健康に十分注意しながら、一人でも多くの友達を作り楽しい人生を送りたいものです。

会長 鈴木 利一



地域福祉推進事業補助金交付のお知らせ

社協では、行政区や小学校区が主体的に企画・運営する交流事業や健康づくり事業等に対して、補助金を交付しています。

補助対象は、地域福祉の推進を目的とした以下の事業を対象としていますので、ご活用をお願いします。

(1) 地域交流事業 別表 1

- ア、三世代交流事業 (輪投げ、餅つきなど)
- イ、避難訓練 (防災、減災マップづくりなど)

(2) 公的なサービスを補完する事業 別表 1

- ア、健康づくり事業 (介護予防体操、ウォーキングなど)
- イ、高齢者サロン事業 (高齢者を招待した食事会など)

(3) 小学校区で実施する事業 別表 2

- ア、地域の交流事業 (ふるさとまつりなど)

(補助金の交付額)

この補助金の交付額は、別表 1 のとおり均等割に世帯割を加算した額とします。

別表 2 については、均等割で補助します。

2 補助金は、年度内 1 回の申請を限度とします。

※詳細につきましては、社協までお問合せください。

別表 1

補助申請者	補助金算出額
地域福祉推進員 (区長)	(均等割) 20,000円 + (世帯割) 世帯数×100円

別表 2

補助申請者	補助金算出額
小学校区代表者	(均等割) 30,000円

お知らせ

スマイルフェスティバルinほこた開催のお知らせ

- 目的 障害者の社会参加を促進させるため、レクリエーションなどを通して、障害者同士の交流やボランティアの人々とのふれあいを深めることを目的に開催します。
- 日時 平成27年10月31日(土) 午前9時から午後1時(予定)
- 場所 銚田市社会福祉協議会 銚田市当間228
- 内容 餅つき & レクリエーション など
- 対象者 銚田市内に在住する障害者および介護者 ※自主参加出来る方



新規会員を募集しています!!

■銚田市身体障害者福祉協議会

身体障害者の福祉増進と会員相互の親睦を図るため、交流を緊密にし、組織の強化と発展を目指し活動をしている団体です。

- 活動内容 バーベキュー大会、ボーリング交流会、会員研修旅行、県・鹿行地区主催のスポーツ大会への参加など
- 会費 年間1,000円

■銚田市手をつなぐ育成会

知的障害のある人とその親・家族たちが中心となって、「心豊かに安心して地域で暮らす」ことを目指し活動をしている団体です。

- 活動内容 日帰り研修会、交流会の開催、茨城県手をつなぐ育成会主催の勉強会への参加など
- 会費 年間3,000円

●お問合せ・申込み先 銚田市社協 TEL 32-5831

多くの善意を ありがとう

期間：5月11日～7月10日現在

善 意 金

●福祉一般へ預託

- 昭和19年大谷村立子生尋常高等小学校卒業同窓生一同 27,143円
- いばらき緑化フェスティバル 16,950円
- 銚田市歌謡連合 美翔会 32,880円



- 鹿行地域労働者福祉協議会 12,000円
- 茨城歌謡師範連盟 22,426円
- 銚田地区民生委員児童委員協議会(5月) 3,153円
- 銚田地区民生委員児童委員協議会(6月) 4,167円

- 匿名 5,000円
- 児童福祉へ預託
- 平成5年度旭中学校卒業生一同 38,271円

善 意 品

- 村田 修さん ミニトマト
- 常陽ボランティア倶楽部 折りたたみ式リヤカー



- ユーカリの里 プルタブ、ペットボトルキャップ



- 塙ライス製茶工場 茶葉130袋
- (株)ヤマザキ 52インチテレビ1台、テレビ台、タオル129枚、茶葉



「使用済み切手・テレホンカード等」

- 山崎 浩さん
- 小沼 美代さん
- 小島 決さん
- 田島 隆勝さん
- 内藤 武雄さん
- 徳宿地区女性会
- 銚田市教育委員会 生涯学習課
- 銚田市役所 介護保険課
- 旭学校給食センター
- 匿名

保育所(園)・幼稚園児の作品

あどけない子どもたちが、絵をとおして福祉の「め」を育むことも大切です。

市内の保育所(園)や幼稚園にご協力をいただいております。



「笑顔が満開」

5月に子ども達が花の種蒔きから行い、水かけを続けました。きれいに咲いた花を見て笑顔で満面に輝いている自分を表現しました。

植物に対して、優しい気持ちや思いやりの心を持って楽しく過ごしています。

青山保育園

5歳児

「愛と希望と夢を」

友達との繋がりを深めながら愛と希望と大きな夢を胸に空高く力強く輝いて欲しいと願いを込めて花火をつくりました。

大洋保育園

ゆり組(5歳児)



手と手を
つなぐ

地域づくり

(地域福祉活動推進事業)



社協では、地域が自主的に実施する交流事業や健康づくり事業等に対して、補助金を交付しています。今回、その中から1地区を紹介いたします。

「三世代交流の集い」 (諏訪地区・韮負区)



今回は会場を諏訪小体育館において、三世代交流の集いを開催致しました。参加者は、高齢者(70歳以上)・子供会(児童・保護者)・区役員その他含め81名の参加となりました。高齢者の送迎につきましては、各班の班長さんに、自宅より会場までの送迎を担当して頂き、10時より開催する事が出来ました。

午前の部(10時～12時)では、アイメイト協会会員の稲村先生(整体師)の盲導犬についてのお話でした。稲村先生は全盲ですので、当日は盲導犬と一緒に奥さん、繁殖犬、盲導犬に不合格犬の二匹の参加もあり、盲導犬による信号機のボタン操作について等、子供達や、高齢者から色々な質問もありました。

昼の部(12時～13時)では、昼食後、子供達はもちろんです、高齢者の皆さんが今まで、お話しした事もない子供達とビンゴゲームで楽しんでいただきました。

午後の部(13時～15時)では、プラトンポ・万華鏡を作って楽しみました。

プラトンポ・万華鏡は参加者全員で子供達はもちろんです、特に高齢者の皆さんは若い頃の子供に戻ってワイワイ声をだして楽しむ姿を見た時、大変だったけれど、やって良かったと思えました。特に、子供達は、自分で作ったプラトンポ飛ばして喜んでくれました。

子供達、保護者、高齢者、役員を含めた参加者全員の協力のもとに三世代交流の集いを開催する事が出来たこと特に高齢者の方々、地域の子供達や参加者の皆さんと交流ができ、楽しいふれあいの一日でした。

区長 白井 忠夫

※掲載地区を募集しておりますので、お気軽にお問合せください。

視覚障害など目の不自由な方へ…

点字ボランティアが点訳、音訳ボランティアが朗読した「社協だより」をお届けしています。希望される方は、社協までお申込みください。